６月度生涯研修講座抄録

歯科医院におけるう蝕・歯周病の予防と健康管理

花田信弘（鶴見大学歯学部探索歯学講座教授）

一昨年から診療報酬に導入されたエナメル質初期う蝕管理加算（歯科疾患管理料の加算２６０点）は、う蝕診断のための国際診断および評価の基準であるＩＣＤＡＳ（International Caries Diagnosis and Assessment System）の診断方法を導入している。ＩＣＤＡＳは、日本学校歯科医会の齲蝕診査基準で定義されている「健全歯」をより詳しく分類して評価・診断しようとするものだ。これまでのう蝕診断方法とは違い、ＩＣＤＡＳでは診断の前に歯面バイオフィルムを除去し、５秒間エアシリンジで歯面を乾燥させる。歯面乾燥後の視診で初期脱灰のサインである白濁がない場合のみ「健全（Ｃｏｄｅ ０）」と診断する。乾燥歯面に白濁があれば、Ｃｏｄｅ １となる。我が国の診療報酬に導入されたエナメル質初期う蝕とはＩＣＤＡＳのＣｏｄｅ １を指す。エナメル質初期う蝕の診断後はＰＭＴＣやフッ化物により病変部の再石灰化を目指した治療を実施する。

一方、歯周病に関しては、歯周病安定期治療（Ⅱ）ＳＰＴ（Ⅱ）が新設された。ＳＰＴ（Ⅱ）では、３８０～８３０点が算定できるので、保険範囲内で収益性の高い予防歯科を実施できる。

厚生労働省の上位目標は、地域包括ケアシステムを構築することだ。健康サポート薬局やかかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所（か強診）はこの目標達成における大きな柱になることが期待される。したがって、毎回の保険改定で地域包括ケアシステム構築の一環として「か強診」が機能するように意図的な誘導が計られている。「か強診」に限定して保険範囲内における予防歯科を可能にしたこともその施策の一環だろう。超高齢社会が続く限り厚生労働省の上位目標が変わることはないので、これからもう蝕・歯周病の予防・重症化予防と健康管理を目指した予防歯科が収益性の高い分野になり続けるだろう。

（行事案内に詳細）

談話室 だんわ室

国家統合の型

篠部正夫（西淀川区）

恫喝と威嚇のきな臭い中で２０１８年を迎えたが、韓国で開かれた冬季オリンピックを機に極東の政局が急展開した。

「国民（民族）国家」とは18～19世紀にヨーロッパで発芽した概念で、海に囲まれた日本では後に受け入れ易かった。元々多民族国家の英国が先駆的な役割を担ったのは歴史の複雑さである。その概念の成熟拡大の延長上に、武器の進化と国家単位の戦争の多発があるのだから、立派なものでも有難いものでもない。

今、朝鮮半島では南北統一が民族の願望だと言われる。その願望達成のまだ新しい雛形が２つある。古い方から順にベトナムとドイツである。

前者は、アメリカの歴史上、初めてのまさかの敗退と北ベトナムによる統一であった。後者は、東ドイツの経済破綻と後ろ盾のソ連の解体によって生じた西ドイツによる合併吸収型である。

近隣国日本にとってどの方式が好ましいかなどの身勝手な議論は、国家獣性丸出しの未来千年に至っても拭えない国家的な品格の汚染になる。

永年苦難する朝鮮民族が、この２つの先例以外に別な国家統合の新しい方式を発見すれば歴史的快挙である。先の２例では核兵器の問題を抱えてはいなかった。

今も変わらぬのは、米、ロ、中などの大国の思惑と干渉である。オリンピックのように利害の外の第三者レフェリー団の下での当事者同士のマッチ・ゲームは不可能なのだろうか。

2017年度 4 各地区総会

積極参加で活性化図る

泉州地区

泉州地区は4月21日、泉佐野市内で総会を開いた。２０１７年度の活動総括、18年度の活動方針、17年度決算、18年度予算を含む各議案を確認した。

総会では、勝藤大輔地区責任者が、「インプラントのトラブル」をテーマに開いた臨床講習会や、堺・高石・和泉地区と共同で実施した文化企画「泉佐野再発見ウォーク」の取り組みを報告。子ども医療費助成の改善を求めて自治体へ要請を重ねた結果、貝塚市や泉南市、泉大津市で中学卒業まで対象範囲が拡充されたことを紹介した。地区活動のさらなる活性化に向け、積極的な地区会員の参加を呼び掛けた。

総会後は診療報酬改定の新点数説明会を開催し、43人が参加。社保研究部講師団が、疑義解釈を含む最新の情報をもとに改定内容の要点を解説した。

同地区の総会を最後に協会全11地区の総会、地区点数説明会の行程を終了した。

患者負担増は中止を

保団連近畿ブロックが街宣

保団連近畿ブロックは４月21日、安倍政権が強行する社会保障費削減に反対しようと〝お大師さん〟でにぎわう大阪市・天王寺前で街頭宣伝を行い、大阪歯科協会の小澤力理事長はじめ近畿各府県から役員・事務局らが参加した（写真）。

小澤理事長は、政府が狙う75歳以上の２割の窓口負担導入などを批判し、「誰もがどこでも安心して受けられる医療制度を守ろう」と訴えた。

新点数説明会に63人が参加

三島地区

三島地区は4月14日に診療報酬改定新点数説明会を高槻市内で開いた。

戸井逸美副理事長が改定をめぐる情勢を報告し、近藤正理事が改定内容を解説。安積中理事が症例を説明した。参加は63人だった。

百舌鳥古墳群の歴史を散策

堺・高石・和泉地区　泉州地区

堺・高石・和泉地区と泉州地区は4月30日、共催で文化企画「堺再発見ウォーク」を開き、14人が参加した（写真）。

堺市のボランティアガイドの案内で大型の前方後円墳のニサンザイ古墳をはじめ、世界文化遺産の候補となっている百舌鳥古墳群を散策。参加者からは「未だ謎の多い古墳の歴史にロマンを感じた」など感想が寄せられた。

4・19国会行動 要請議員一覧

衆院〈自民〉大隈和英、宗清皇一、岡下昌平、谷川とむ、佐藤ゆかり、神谷昇、大西宏幸、とかしきなおみ、北川知克、中山泰秀、大塚高司、左藤章、長尾敬※、原田憲治、竹本直一〈立民〉長尾秀樹、辻元清美、尾辻かな子、村上史好、森山浩行〈希望〉樽床伸二〈共産〉宮本岳志※〈無所属〉平野博文　**参院**〈自民〉松川るい、太田房江、柳本卓治〈共産〉山下芳生、大門実紀史※、辰巳孝太郎※（※面談議員、敬称略）

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

新規開業医講習会「新規個別指導対策編」

日時　5月26日（土）午後6時～8時
会場　保険医会館　**定員**　60人
講師　社保研究部講師団
会費　会員無料（会員限定）
持参物　『カルテ記載を中心とした指導テキスト』（２０１７年８月版）

女性医師・歯科医師の会

おおさかウォッチング　古地図で辿る大阪城周辺

日時　6月2日（土）　午後2時30分～4時30分
集合　午後2時15分にＪＲ環状線「大阪城公園」駅改札前　**案内人**　西俣稔氏（大阪案内人）
コース　砲兵工廠碑⇒旧第4師団司令部⇒教育塔⇒摂津国府跡など
解散　地下鉄・京阪「天満橋」駅
※終了後、希望者で懇親会（実費）を開催します

6月度生涯研修

歯科医院におけるう蝕・歯周病の予防と健康管理

日時　6月3日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール
講師　花田信弘氏（鶴見大学歯学部探索歯学講座教授）　**定員**　１００人
会費　会員3千円、未入会者1万円

政策学習会

都構想の本質を捉える～総合区、特別区って何？

日時　6月9日（土）午後5時45分～7時30分
会場　保険医会館　**定員**　50人
講師　中山徹（奈良女子大学教授）
会費　会員・家族・スタッフ無料

保険でよい歯科医療を大阪連絡会　総会・市民講座

子どもの運動器が危ない！―子どもからのロコモ対策

日時　6月17日（日）午前10時～午後0時30分
会場　M&Dホール
講師　帖佐悦男氏（宮崎大学医学部附属病院副病院長）
会費　無料　**定員**　１００人

無料相談

法律　6月4日（月）午後2時～4時
税務　6月20日（水）午後2時～5時
雇用　6月21日（木）午後2時～4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。